

報道発表資料の配付日時 10月11日(水) 17時15分

発表項目 (行事名)	令和5年度(第62回)農林水産祭「天皇杯」等の受賞について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>令和5年度(第62回)農林水産祭「天皇杯」等の受賞者が決定し、道内から「林産部門」で天皇杯、「畜産部門」で内閣総理大臣賞が受賞されることとなりましたので、お知らせします。</p> <p>1 天皇杯 (1) 受賞者名 谷口 淳一(北斗市) (2) 部門 林産(技術・ほ場(苗ほ)) (3) 受賞理由 ・トドマツを始めとした優良なコンテナ苗を安定的に供給。 ・技術改良を重ね現場のニーズを踏まえた苗木の生産に取り組む。 ・積極的な設備投資により生産効率を高めるとともに、女性を含めた作業者の労働負荷の軽減を実現。</p> <p>2 内閣総理大臣賞 (1) 受賞者名 丸藤 英介・紗織(中川郡中川町) (2) 部門 畜産(技術・ほ場(永年牧草)) (3) 受賞理由 ・新規就農委員を務め、研修生受入や就農後フォローも積極的に行う。 ・牧草新品種の導入や牧草由来乳生産量の増大、農薬・化学肥料の使用中止など、飼料価格高騰下において外部依存度を低減した持続的な酪農経営モデルを提示。</p> <p>3 今後の予定 11月23日(木)東京都内で開催される農林水産祭式典において表彰が行われます。</p>		
参考	農林水産省からの「令和5年度(第62回)農林水産祭天皇杯等の選賞について」のプレスリリースを添付します。 なお、詳細については農水省のホームページをご覧ください。		
報道(取材)に 当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	農政部農政課総務係(担当者:森山、田中(啓)、荻島) TEL(直通)011-204-5372 内線:27-119 水産林務部森林整備課保護種苗係(担当者:関根、井村、宮下) TEL(直通)011-204-5507 内線:28-629		

令和5年度(第62回)農林水産祭天皇杯等受賞者一覧

1 天皇杯

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
農産・蚕糸	産 物 (茶)	鹿児島県 南九州市	株式会社 ^{はしかわ} 栢川製茶 (代表 ^{はしかわ} 栢川 克可)	第76回全国 茶品評会
園 芸	経 営 (レモン)	広島県 ^{おのみち} 尾道市	せとだエコレモングループ (代表 ^{みやもと} 菅本 悟郎)	第52回日本 農業賞
畜 産	経 営 (肉用牛一貫・ 酪農)	熊本県 ^{くまぐん} 球磨郡 錦町 ^{にしきまち}	株式会社 ^{ありた} 有田牧場 (代表 ^{ありた} 有田 ^{こういち} 耕一)	令和4年度 全国優良畜 産経営管理 技術発表会
林 産	技術・ほ場 (苗ほ)	北海道 ^{ほくとう} 北斗市	谷口 ^{じゅんいち} 淳一	令和4年度 全国山林苗 畑品評会
水 産	産 物 (水産加工品)	富山県 ^{ひみし} 氷見市	株式会社 ^{はんしち} 半七 (代表 ^{くぼた} 窪田 ^{ひろあき} 博晃)	第33回全国 水産加工品 総合品質審 査会
多角化経営	経 営 (ユズ)	高知県 ^{あきぐん} 安芸郡 馬路村 ^{うまじむら}	^{うまじむら} 馬路村農業協同組合 (代表 ^{きたおか} 北岡 ^{ゆういち} 雄一)	第52回日本 農業賞
むらづくり	むらづくり 活動	愛媛県 ^{まいよし} 西予市	^{ひゃくしょうひゃつぱん} 百姓百品グループ (代表 ^{わけ} 和氣 ^{かずお} 數男)	第45回豊か なむらづく り全国表彰 事業

2 内閣総理大臣賞

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
農産・蚕糸	経営 (水稻・WCS用 稲(稲発酵粗飼 料)・そば)	島根県松江 ^{まつえし} 市	ライスフィールド有限公司 (代表 吉岡 雅裕)	第52回日本 農業賞
園 芸	経営 (有機野菜)	茨城県石岡 ^{いしおかし} 市	JAやさと有機栽培部会 (代表 田中 宏昌)	第52回日本 農業賞
畜 産	技術・ほ場 (永年牧草)	北海道中川 ^{なかがわぐん} 郡 中川 ^{なかがわちよう} 町	丸藤 英介* 丸藤 紗織*	第9回全国 自給飼料生 産コンクー ル
林 産	産 物 (乾しいたけ)	静岡県伊豆 ^{いずし} 市	朝香 博典	第69回全国 乾椎茸品評 会
水 産	経営 (漁業経営改善)	福岡県宗像 ^{むなかたし} 市	鐘崎あまはえ縄船団 (代表 権田 義則)	第28回全国 青年・女性 漁業者交流 大会
多角化経営	経営 (6次産業化)	愛知県常滑 ^{とこなめし} 市	株式会社デリーファーム (代表 市田 眞澄)	令和4年度 全国優良経 営体表彰
むらづくり	むらづくり 活動	山形県鶴岡 ^{つるおかし} 市	越沢自治会 (代表 伊藤 浩)	第45回豊か なむらづく り全国表彰 事業

(注)氏名等の欄に*を付したのは、夫婦連名で表彰するもの。

3 日本農林漁業振興会会長賞

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
農産・蚕糸	経 営 (葉たばこ・ミ シマサイコ・水 稲ほか)	熊本県球磨郡 あさぎり町	片瀬 克徳* 片瀬 真由美*	令和4年度 (2022年度) 熊本県農業 コンクール 大会
園 芸	経 営 (スイートピー)	愛知県田原市	JA 愛知 みなみスイートピー 出荷連合 (代表 小久保 禮次)	第52回日本 農業賞
畜 産	経 営 (養豚)	茨城県下妻市	倉持ピッグファウム 株式会社 (代表 倉持 勝)	令和4年度 全国優良畜 産経営管理 技術発表会
林 産	経 営 (林業経営)	青森県十和田市	有限会社下久保林業 (代表 下久保 眞信)	全国林業経 営推奨行事
水 産	産 物 (水産加工品)	長崎県松浦市	有限会社酒のいっしょ (代表 池野 晋一)	第60回長崎 県水産加工 振興祭
多角化経営	経 営 (働き方改革)	愛媛県西宇和郡 伊方町	株式会社ニューズ (代表 土居 裕子)	令和4年度 全国優良経 営体表彰
むらづくり	むらづくり 活動	愛知県豊田市	一般社団法人押井営農組合 (代表 鈴木 辰吉)	第45回豊か なむらづく り全国表彰 事業

(注)氏名等の欄に * を付したのは、夫婦連名で表彰するもの。

4 女性の活躍

(1) 内閣総理大臣賞

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
多角化経営	女性の活躍	新潟県 <small>おちやし</small> 小千谷市	<small>あらや</small> 新谷 <small>りえこ</small> 梨恵子	令和4年度農山漁村女性活躍表彰

(2) 日本農林漁業振興会会長賞

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
多角化経営	女性の活躍	熊本県 <small>くまもとし</small> 熊本市	JA熊本市女性部 (代表 <small>せのうえ</small> 瀬上 カチ子)	令和4年度農山漁村女性活躍表彰

令和5年度天皇杯受賞者受賞理由概要
林産部門

たゆまぬ創意工夫による優良なトドマツコンテナ苗の安定供給

○氏名又は名称 谷口 淳一

○所在地 北海道北斗市

○出品財 技術・ほ場（苗ほ）

○受賞理由

・地域の概要

北斗市は、北海道の南西部に位置し、南は函館湾に面しており、対馬暖流の影響を受け、最低気温は1月の -4°C 、最深積雪は50cm程度と道内では比較的降雪量が少ない温暖な地域である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

谷口氏は父が設立した有限会社谷口精光園の代表取締役役に平成25年に就任すると、平成26年度から、気象害を受けにくく、また育苗作業を通年化できるコンテナ苗生産に着手した。トドマツコンテナ苗1,200本から毎年生産規模を拡大し、令和4年度ではトドマツコンテナ苗30万本、カラマツやクリーンラーチのコンテナ苗を合わせると約52万本を作付け、コンテナ苗生産量としては道内3位で、トドマツコンテナ苗は全道の約4割を占めている。積極的な設備投資による事業形態の刷新や労働環境の改善等により効率的な生産を行い、北海道の代表的なコンテナ苗生産者として優良なコンテナ苗を安定的に供給している。

・受賞者の特色

(1) 創意工夫による現場のニーズを踏まえた優良なトドマツコンテナ苗の生産

試験研究に熱心な谷口氏のコンテナ苗生産技術は全国的にみても非常に高い。特にトドマツコンテナ苗は、出荷までに概ね4年の長い育苗期間を要するほか、苗長に差が生じやすい、根鉢が中央から崩れやすいなどの特有の課題がある中、植栽時の労働負荷や下刈り作業の軽減が期待できる大きい規格のコンテナ苗として苗長を揃えた出荷を可能にし、また根鉢を生分解性不織布で包むことで梱包や輸送、植栽の際に崩れないようにするなど、現場のニーズを踏まえ技術改良を重ねた結果、谷口氏のトドマツコンテナ苗は、植栽する事業者から高い評価を受けている。

(2) 合理的な土地利用と作業効率化の創意工夫が生み出す高い苗木生産能力

ほ場や施設内の舗装化や移動式レール台車、プラスチックパレットの育苗台の導入、ハウスについてはスマートフォンやPCで内部の温湿度等の情報を取得し、遠隔操作による灌水、液肥、殺虫殺菌を可能とする設備の導入等、合理的な土地利用や苗木生産効率を高めるための創意工夫に徹底して取り組むことで、高い苗木生産能力を生み出すとともに、作業者の労働負荷の低減を実現している。冬期の作業が可能となったことで18人を通年雇用している。また、雇用者44人のうち38人が女性であり、常に暖かくきれいなトイレの設置をはじめ、女性が働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

・普及性と今後の発展方向

同業者との交流も積極的に行い、自らが得た知識を惜しみなく共有するなど、業界全体の発展を目指している。積極的に設備投資を行い、施設を進化させる意欲に溢れており、既に生産に取り組んでいるクリーンラーチ及びトドマツのコンテナ苗生産施設を更に拡充し、大幅な生産増加を目指している。

令和5年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
畜産部門

牧草を最大限に利用し外部依存度の低下を追求した低投入型放牧酪農

○氏名又は名称 丸藤 英介・丸藤 紗織

○所在地 北海道中川郡中川町

○出品財 技術・ほ場（永年牧草）

○受賞理由

・地域の概要

中川町は、北海道の北部に位置し、山岳部を除く平地は一部の泥炭地を除いて肥沃であり、畑作、畜産、林業を主な産業とする自然豊かな町である。中川町の農業産出額は、令和3年度で13億6千万円であり、うち畜産は69.8%の9億5千万円であり、乳用牛が8億9千万円（生乳7億6千万円）とその大半をしめている酪農が盛んな地域である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

丸藤氏は平成12年に北海道へ移住後、平成20年に中川町の離農酪農家跡へ新規就農した。現在は乳牛70頭の家族経営で、成牛42頭は放牧を中心に濃厚飼料給与量を極力抑えた飼養体系であり、飼料TDN自給率80%を達成している。

・受賞者の特色

(1) 積極的な草地改良による牧草の高品質化

ローインプットで利益を確保するため、牛の主食となる草の高品質化を目指し草地改良に力を入れている。所有する草地の土壌条件が悪く生産性が低いため、耕起による更新、暗渠の整備、追播による簡易更新を行い、放牧用草地、採草地、放牧・採草兼用地の植生改善をデータに基づき積極的に進めている。

(2) 外部依存度の低下による持続性の高い酪農経営

年間を通じて牧草からの乳生産量を最大にするため、早生、中生、晩性を計画的に作付け、適期で収穫している。播種量を増やすことで雑草の抑制や牧草の死滅を低減している。放牧地および兼用地では除草剤や化学肥料の使用を中止して有機的管理に移行し、令和6年度の有機JAS認証(飼料)の取得を目指している。

(3) 女性の活躍

夫妻は家族経営協定を結んでおり、英介氏は草地・飼養管理、紗織氏は搾乳作業という分業体制としている。紗織氏が担当しているのは時間の決まった朝・夕の搾乳のみであるが、投資など重要な判断を伴う決定は夫婦で相談し行っている。

・普及性と今後の発展方向

英介氏は新規就農委員を務め、研修生受入や就農後フォローも積極的に行う地域のリーダーであり、生態系調和と持続性重視の経営姿勢は、これからの酪農経営の1つの展開方向を示している。また、牧草新品種の導入、牧草由来乳生産量の増大、農薬・化学肥料の使用中止など、飼料価格高騰下において外部依存度を低減した持続的な酪農経営モデルを提示している。